

# しんりん

2022年8月号

vol.127

〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176  
発行/津南町森林組合 TEL.025-765-2510



耳をすませば

## 夏を迎えて

代表理事組合長 涌井 九八郎

かつて経験のない六月中の梅雨明けがあり、ひまわり畑も開園した津南の夏です。

平素より組合員、町民の皆様にはご理解とご協力を戴き深く感謝申し上げます。

コロナウイルスについては一端落ち着きを見せ、全都道府県において県版の旅行支援が実施されていますが、また第七波の到来で先が見通せない状況は続き、組合にとっては前年以上に厳しい状態にあります。

加えて円安やウクライナ問題により、重油や電気料の大幅な値上がりと原材料・資材・物流費の上昇は更に組合経営を苦しめています。

この中であって、当森林組合も持続可能な開発目標として世界全体で取り組みが進められているSDGs宣言を行いました。組合としての取り組み項目を今回特集として載せております。

また森林環境譲与税で取り組んでいる「津南さんさん計画」の他、今年度から町の協力を得ながら三年前に休止した町営高野山牧場（横根）跡地にブナ等広葉樹の植林を行うこととしております。十一月五日(土)に予定している組合事業の紹介や各種体験を含めた「森林組合まつり」と併せてチラシ等でご案内しますので、ぜひ町民の皆様よりご参加頂きたいと考えております。

このほか本紙の写真にもありますように、名水龍ヶ窪参道両側にあるブナを中心とする森林について、所有者の方々よりご協力を頂く中で芦ヶ崎小学校他の体験林を設定することができました。多くの子供たちから散策や体験学習に利用していただければ幸いです。

今年度新規に各種事業を計画・実施しておりますが、いずれも組合員、町民各位のご理解とご協力が無ければ進みません。暑い夏を乗り越え秋の行事へのご参加をお願い申し上げます。



# 津南町森林組合 SDGs 宣言

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) とは、貧困や福祉、気候変動といった世界全体が直面する課題を解決し、私たち自身が今やるべきことを全 17 個の目標として掲げ、2030 年までの目標達成を目指し、国や地域、企業や個人がそれぞれの課題に取り組む国際目標です。当組合では、森林環境保全活動を通じて、次世代へ繋ぐ森づくりによる地域社会に貢献してまいります。

### 私たちは、15 のゴールを目指します。

#### 一 次世代へ繋ぐ森林及び国土環境の維持増進に努めます。



#### SDGs の達成に向けた取組み

地域森林資源の保続培養を行うとともにカーボンニュートラル社会実現に向けての役割を目指します。計画的な森林整備を実施し、カーボンオフセット事業の取り組みを続けます。伐採跡地や牧場跡地等に広葉樹植林を進めることにより、水源涵養、温室効果ガス吸収、レクリエーション機能など公益的機能増進及び生物多様性の向上に努めます。森林環境譲与税を最大限活用する中で、農村地域において持続できる生産活動と生活環境の維持増進を図ります。単層林から針広混交林への誘導を進めます。

## 一 地域産業に貢献できる事業体を目指します。



### SDGsの達成に向けた取組み

食品部門においてはコロナ後の消費形態と消費性向を的確にとらえ、パートナー企業とともに新たな食品開発を急ぎます。

食品製造において供給の不安定さが増す輸入原材料に極端に頼ることなく、国産または地元原材料を生かした食品開発を進めます。

食品安全管理システムとして最上位である FSSC22000 認証を維持し続けます。

安全衛生管理をさらに徹底するとともにコンプライアンス態勢の強化に努め、取引先、お客様、地域から信頼される組合を目指します。

きのこ生産において産地ブランドの維持に努めるとともに、組合生産も維持します。

組合の生産活動から発生する廃棄物について、再利用への研究開発を進め、コスト削減と地域内及び組織内循環を図るとともに、CO<sub>2</sub>削減に努めます。

組合として地域産業の一端を担っていることを認識し、地域経済のけん引と雇用の維持、経営の安定に努めます。

## 一 森林教育及び木育に努めるとともに、企業・団体のCSR活動に協力します。



### SDGsの達成に向けた取組み

町内外の小・中・高生に対し、森林体験の場と教育機会を提供します。

「木を伐ること、木を使うこと」の大切さと木にふれること、木製品に親しみを持ってもらうことに努めます。

「学校、保育園の森」設置と運営に協力していきます。

都市生活者とともに、広葉樹植林を通じ森林の大切さ、環境維持への認識強化と交流に努めます。

カーボンオフセット事業を含め、企業・団体によるCSR活動に積極的な応援と協力をします。

## 一 開かれて働きがいのある職場を目指します。



### SDGsの達成に向けた取組み

「広報しんりん」を定期発行し、組合情報の発信と、町民、組合員からの意見を求めています。

職員教育及び職員の自己啓発を推進し、各種資格取得と資質向上に努めます。

法令順守とともに、コンプライアンス態勢の向上に努めます。

各種ハラスメント防止のため、教育及び周知に努めます。

労働安全衛生、健康管理に努めます。

職員の福利厚生、ジェンダー平等を更に強化します。

## (株)カルネコ様 より 絵本贈呈

カーボンオフセット事業にご協力頂いている(株)カルネコ様より森林環境についての絵本をいただき町教育委員会へ贈呈し各保育園へお渡しいただきました。少しでも環境に関心をもってくれたらうれしいです。



芦ヶ崎小学校ではかねてより、児童が自由に安全に森林体験や自ら考えた遊び、そして自然や環境教育ができる身近な体験を求めています。

この度、名水龍ヶ窪に通じる参道脇の森林一haを岡集落の地権者八名の方々から暖かい協力を得て、芦小の森(仮称)として設定できることとなりました。

なお、ネーミングについてはこれから芦ヶ崎小学校の児童全員で考えてもらうこととなります。

子供たちにとって危なくない程度の手入れを今年と来年にかけて行う予定にしております。

費用については森林環境譲与税を原資に町から協力を頂くことにしています。

なお、この森については芦小のみでなく、町内の各学校や保育園からも利用してもらうことにより、より一層森林や自然に親しんでもらえればと考えています。

この写真は六月二十二日、芦小児童全員による龍ヶ窪クリーン作戦の終了後、この森を散策したものです。



## 芦小の森(仮称)が できました

## 今年から牧場跡地への広葉樹植林と 森林組合まつりを実施します

今まで町営牧場として利用してきました高野山牧場(横根地区)については3年前より廃止されています。現在一部牧草は残っているものの、殆んどススキ藪状態になりつつあります。

このままだと水源涵養や生物多様性に問題もある他、土地の有効活用から考えても本来の森林に戻すべく、今秋から計画的にブナ、栃等広葉樹の植林を行う計画です。

面積そのものは40ヘクタール近くもあり、何十年掛るか解りませんが、土地所有者の同意を得たうえで実施することとしています。

今年は10月29日(土)を予定していますので、多くの方々より参加と植林に協力して頂ければと思っています。

また、今年から森林組合の事業をご理解頂くことを目的に工場見学や各種体験等を盛り込んだ森林組合まつりを計画しています。期日は11月5日(土)となります。

何れの行事も期日が近くなりましたら、チラシ等でご案内をしますので町民こそぞってのご参加をお願い致します。



特産部

コロナ禍を乗り越えて  
特産部待望の出展!!  
～ファベックス2022～

6周年開催  
4月13日～15日  
10:00～17:00  
東京ビックサイト 東4-5-6ホール



新型コロナウイルスまん延の影響で参加を自粛しておりましたが、感染状況が落ち着いたことで今回3年ぶりに参加を決定し、東京ビックサイトで4/13(水)～4/15(金)に3日間ブースを設けて出展してまいりました。

ファベックスは業務用食品関係の国内最大の展示会です。今回の来場者数は、37,781名とコロナ禍前に比べると半分くらいの来場でしたが、明確な目的を持って来場するお客様が多く、組合商品(特に雪下人参関連)を中心に、本当に興味ある方にしっかりと商品案内をすることができました。出展後すぐに2社と新規契約が決定し、以前と比べても確かな手ごたえを感じています。コロナ禍の影響で落ち込んだ売上を取り戻すべく、たくさんの取引成約を目指し営業活動に尽力して参ります。



### ●きのこ部●



## 東京シティー青果様来森



## きのこ生産者と意見交換会を開催しました

平成17年より取引を行っております東京シティー青果様と町内きのこ生産者9名とで活発に意見が交わされました。コロナ禍で市場の方と直接お話ができるのは3年ぶりです。これからの販売戦略、アピールポイントなどお話しをして頂き、各生産者からの質問にも答えていただきました。

品質にこだわることで活路が開けるとお話しを頂き、見た目、味に加え、お客様のニーズに合ったきのこを生産販売していけるようこれからも頑張ります。



# きのこ編



今迄薬用植物編として、身近にあり昔から民間療法としても利用されてきた薬草を取り上げてきましたが、今回から同様に林内や樹木、草地や家周りに生える「きのこ」について記すことにしました。

ただ薬用植物編と同様にその部門の専門家ではなく、採ることも食べることも好きな趣味程度の素人ですので、内容に間違いや勘違いが有るかも知れません。その点はお許し頂きたいと思えます。

現在きのこ類は多くの種類が栽培され、それもカロリーが少なく、しかも和食文化には欠かせない旨味成分や健康増進効果が認められる他、料理にも多様性を発揮しスーパーを巡れば野菜・果物・肉・魚介類と並んで生鮮食品棚には欠かせないアイテムとなっています。

私たち地方にとっても、きのこ栽培は一大産業に発展しています。次号から津南地域に生える食用や毒きのこについて自身の思い入れも含めて順次取り上げていく予定ですがその前にきのこの関わりを少し記しておきます。

ここ数年、海では庶民の食卓に必ず載っていたサンマ・鮭・シジミ・海苔等の漁獲量が激減し、海そのものの異変が指摘されています。どうも山地でも同じようなことが起きているように感じます。

私の父親は戦争から復員後、ネマガリタケを使った竹細工を習い冬仕事にザル・ボテ・桑取籠などを作っていました。秋始末が終わる11月頃、父に連れられ山へ竹切りに出掛けます。そこにはアカッポ（クリタケ）なども出ています。また同じ小学生時代、当時の校長が山菜採りやきのこ採りに鍋や味噌を持って連れて行ってくれました。こんな経験が山菜やきのこ採りが好きになり、食べ方や名前も覚えることになります。

そんな当時から親しんだホンシメジ・ミネシメジ・キシメジ・マイタケ・コウタケ・ホウキタケ・センボンシメジ・クリタケなどが最近出なくなったのです。秋の楽しみがなくなってしまいました。原因は苗場山麓事業での畑地化や薪炭林としての雑木林更新がなくなったこと、ナラ枯れ等があると思います。改めて里山の豊かさ、生活との一体性や価値を感じながらきのこの思い出等記していきたいと思います。

## 職員募集

(森林・特産・きのこ)

津南町森林組合と一緒に働いてみませんか！

職場見学可能です。  
お気軽にご連絡ください。

総務部 津端まで  
TEL 025-765-2510



## お知らせ



★ お盆休み 8月14日(日) ~ 16日(火)

★ 組合員資格: 相続等名義変更手続き、ご連絡ください。

★ 広報《しんりん》について皆様のご意見ご要望をお聞かせください。

総務部広報係 TEL:025-765-2510

## あとかき

STOP WARM NO WAR  
今までの生活や防災意識を覆す異常気象による自然災害が全国至る地域で多発との報道。特に急速な温暖化を感じる。しかし、猛暑でも、ここ数年食欲が全く落ちない。トマト、キュウリ、ナスの定番にゴーヤやオクラが食卓に並ぶ。津南最高。

ウクライナ侵攻以降、新鮮な野菜を食べ布団で安眠できることを心より幸せに思う。なぜ、こんな悲劇が起きているのか、なぜ世界は止められないのか？一刻も早い終息を願うばかり。



## 職員紹介

● きのこ部 ●

かすが かずや  
春日 千弥  
(十日町市樽沢)



勤務8年。きのこ部、共選で活躍。

嬉しいと思うことは「トラブル無く一日の業務を終えた時とアルビが勝利した時」。

趣味は野球とサッカー観戦、県内外に出かける。アルビレックス新潟とシアトルマリナーズファン。

勤務動機は食品製造に携わりたかったから。勤めてからの組合の良さは、休日が決まっていて、有給も取得しやすいこと。性格は「やれることは何でも頑張る」と力強く、頼もしい限り、今後の活躍に期待大。

いっしょにアルビ応援してくれる《かの女さん》募集中!